

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 訓子府北栄地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「各町田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

訓子府町 豊かな森林で覆われており、山間部には様々な動植物が生息・生育している。また、常呂川水系を中心とした典型的な段丘波状地域であり、それらにより形成された田園風景が町のシンボルとなっている。

置戸町 周囲は緑豊かな自然環境が広がり、四季の移り変わりが鮮明で春は新緑がまぶしく、冬は積雪・寒冷が特徴であり、このような自然的特性が置戸の個性を形づくっている。

【課題】

訓子府町 多くの自然環境を保全するとともに、自然生態系に配慮した河川整備等が必要である。

置戸町 山地・農地の自然環境を保全するとともに、その公益性を大切に人と自然が調和できる環境づくりを進めていかなければならない。

《環境保全の基本的考え方》（「各町田園環境整備マスタープラン」より）

訓子府町 水資源のかん養、自然環境の保全、景観の形成などの多面的機能を発揮し、豊かな自然環境と土地資源を生かした環境調和型農業を促進する。

置戸町 計画的な土地基盤整備の促進で農地の保全・地力の向上・生産性の向上と、適正な自然環境の保全に配慮して、人と自然が調和する環境も形成し、ゆとりとうるおいのある生活空間の創造と美しい農山村の実現を図る。

2. 環境配慮方針

《基本方針》

本地区は、北海道常呂郡訓子府町及び同郡置戸町に位置し、一級河川常呂川水系常呂川左岸に拓けた農業地帯であり、農地、河川及び河畔林により農村景観が形成されている。

本地区の排水路及びその周辺では、希少な魚類や植物等の多くの生物の生息・生育が確認されている。

本事業においては、関係町の田園環境整備マスタープランとの整合を図り、生態系や景観との調和に配慮する。

《取組内容》

(1) 生態系への配慮

- ・現況の段落型落差工は、水面落差が大きいため魚類の移動が妨げられることから、水面落差が小さい傾斜型落差工にすることで、魚類の移動が可能な構造とする。
- ・改修する排水路が樹林帯を横断する区間があることから、伐範囲を縮小することで、樹林帯内に生育する希少植物への影響を軽減する。なお、伐採範囲内で希少植物の生育が確認された場合は、必要に応じて工事区域外の生育に適した場所へ移植等を行う。
- ・魚類の生息環境に配慮するため、工事の実施にあたっては、沈殿・ろ過等の濁水処理施設を設置し、濁水流出を防止する。

(2) 生態系及び景観への配慮

- ・排水路整備の法面は一時的に裸地となり、周辺農地景観との調和が損なわれることから、法面に自然繊維シートを施し、植物の生育環境に配慮し、農村景観との調和に配慮する。